



院長

なす ともりのり
那須 文章

院長就任のご挨拶

今春より宝塚第一病院院長に就任いたしました、^{なす ともりのり}那須 文章です。これまで整形外科の診療をしながら、感染対策を含めてその合間に管理職の業務を担ってきました。これからは本腰を入れて管理職に没頭しなければならないことを痛感しております。先のパンデミックで、全国的に新興感染症への対応だけでなく様々な問題点が露呈されました。そのひとつが施設間の連携であり、いわゆる地域連携というものです。普段は連携を取れていても、いざという時に機能しないと脆弱なものであることがわかりました。それを改善するために、感染症対策を足掛かりとして地域連携を強化しようという流れが作られています。いみじくも、これは宝塚第一病院の掲げてきた理念に一致するもので、パンデミックの中でも一定程度の役割を果たせたのではないかと思考しています。



これから地域連携を強化していく中で中心的な役割が担えるよう、これまで培ってきたノウハウを活かしながら活躍の場を広げていきたいと考えております。これまで以上に質の高い医療を提供し、これまで以上に地域から信頼される医療機関をめざして邁進していく所存です。



CT装置を「最新式 80 列マルチスライス CT」に更新しました

2025年5月、当院では地域医療のさらなる発展と患者様への最良の医療を目指し、最新鋭のキャノン製80列160スライスCT『Aquilion PRIME SP i Edition』を導入いたしました。

このCT装置は、次世代AI技術を採用し、従来モデルを大きく上回る性能を誇ります。特に、ディープラーニング技術を駆使した新画像再構成技術『AiCE』が組み込まれており、ノイズを大幅に低減し、空間分解能を向上させることで、より精細な画像を短時間で得られます。



患者様の放射線被ばくを軽減する点も強化しており、従来装置より安全で負担の少ない検査が可能です。体内金属による画像の乱れを効果的に抑える「金属アーチファクト除去機能（SEMAR）」も搭載されており、整形外科領域の診断において極めて有用です。手術後のフォローアップ検査や、人工関節によるアーチファクトの影響を最小限に抑えた画像を提供し、より正確な診断を実現します。

このCT装置の導入を通じ、地域に根ざした信頼できる医療機関として、患者様の健康を支え、より質の高い医療の提供を目指します。

放射線科技師長 上田

脊椎センター

詳しくは右のQRコードから
ホームページをご確認ください



宝塚第一病院では今年4月、脊椎センター・人工関節センターを開院いたしました。

宝塚市のみなさまに最先端の治療を提供するため、今後も研鑽を積み、医療の質を高めてまいります。

人工関節センター

詳しくは右のQRコードから
ホームページをご確認ください



医師着任のお知らせ

^{まつもと たかし}
整形外科医師 松本 高志

4月より宝塚第一病院に赴任致しました松本高志です。以前は堺市の病院で勤務しておりました。高齢化社会に伴い増加する慢性疾患、骨粗鬆症に起因する外傷、また若年者の外傷などの対応を含め、少しでも地域医療に貢献出来るよう頑張りたいと思います。



^{たなか やすえ}
脳神経外科医師 田中 康恵

2025年4月1日、脳神経外科に赴任しました田中康恵です。2020年度以来5年ぶりに帰って参りました。当院の脳神経外科は、宝塚市立病院脳神経外科や兵庫医科大学脳神経外科と連携して診療を行います。脳卒中や外傷をはじめとしたあらゆる脳疾患およびそれを疑う患者さまが気軽に受診し、適切な診断と治療を受けられるための窓口として、地域の皆さまが安心して生活できるよう機能して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

